

令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：063.博物館文化財学

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問(ローマ数字のⅠ、Ⅱ……)ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

Ⅰ. 下記の史料を句読点を補って翻刻しなさい(原文漢字に付された振り仮名は、翻刻不要。横書のこと)。

堯天山報恩寺小川に西上る處あり溪土ありて智恩院に屬を初天公澤土の
 處なる無字なる因ふ明泉和尚より西蓮社慶譽上人澤土の二宗と改む本尊を
 阿弥陀佛ありて安阿弥の他あり當寺の什物小虎の画あり四明陶俗れあり
 秀吉の對聚樂亭ありて夜に聲を發せ故世人鳴虎と稱れ
 堀川は水上を二流あり其一鴨川のなりて上流より人家の下流にありて
 堀川一系戻橋下を合流を小川より二流の勢をよりて今丹東に流と
 名は若狭川と云ふ戻橋下を合流南に流れ末は經て上鳥羽より勢を鴨川に
 入る花
 水上も流るるありて其の代はぬるひする堀川のあり
 曾祿好忠

令和 9 年度 第 1 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：063.博物館文化財学

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

Ⅱ．日本における浄土教美術の展開を、平安時代を中心に、顕教と密教との関係を踏まえて論じなさい。